

大学院 教育評価アンケート結果

2021年度 修士課程【国際保健助産学専攻】

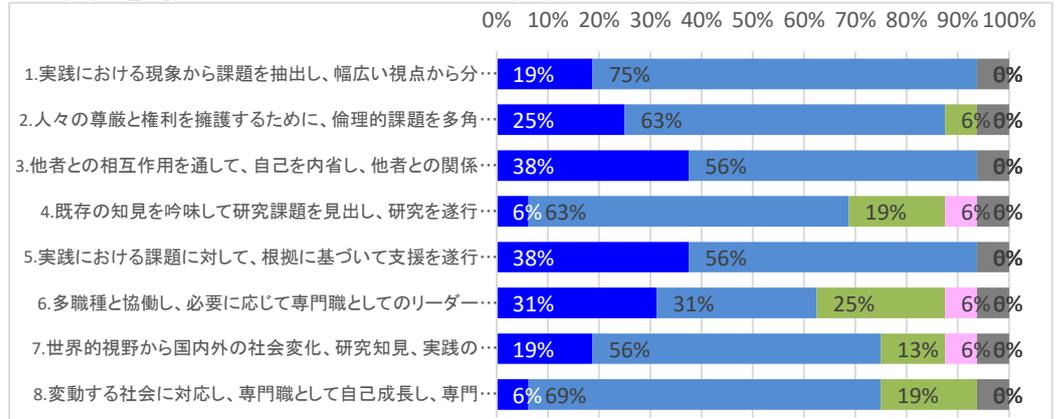
2021年度の修士課程(国際保健助産学専攻)の在學生(1~2年生)を対象とした教育評価アンケートは、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を受け、前年度に引き続きWeb調査を行いました。以下、在學生の調査結果についてご報告いたします。

■ 強く思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない ■ 無回答

I. 現時点であなたが以下の項目を身につけているかについて回答してください

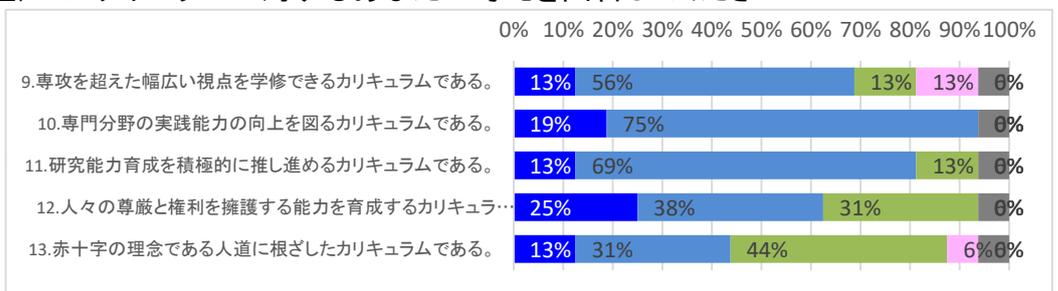
n=16

8つの項目は全て、本学ディプロマポリシーに定める能力に対応しています。現時点で身につけている能力として、在學生の7割以上が「強く思う」「そう思う」と回答した項目は、8項目のうち6項目でした。



II. 本学大学院(修士課程)のカリキュラムに対するあなたの考えを回答してください

修士課程(国際保健助産学専攻)のカリキュラムの受け止めについて、7割以上の在學生が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、5項目のうち2項目でした。専門分野の実践能力を向上させ、研究能力育成を積極的に推し進めるカリキュラムであると評価されています。



III. 大学院における以下の内容に関する満足度を回答してください

本学大学院への満足度として、修士課程(国際保健助産学専攻)の在學生の7割以上が「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、28項目のうち12項目でした。授業関連として、主体的に学べる授業や新しい発見・視野を広げる授業が多いこと、実習及び論文指導体制の充実などが高く評価されています。教員に関連することとして、学問分野の専門家として優れた教員や、学生を尊重する教員、教育や研究、実践に対して熱意を持った教員、人間的な魅力のある尊敬できる教員が多いことが評価されています。併せて、教員による個別指導の充実さも高く評価されています。その他、窓口対応のスムーズさ、図書館の情報検索データベースの充実、キャンパスの安全性が高く評価されています。

